

## 平成 29 年度「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

## 国 語

## 平均通過率

市 72.2%  
県 (69.2%)

※( )内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 74.4% (70.4%)

【聞 く こ と】 80.1% (72.4%)

【書 く こ と】 60.2% (58.1%)

【読 む こ と】 78.1% (77.1%)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 76.6% (73.8%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 63.1% (64.0%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 文語のきまり  
(設問二5) 96.9% (93.4%)
- 故事成語  
(設問二2) 94.5% (95.3%)
- 登場人物の状況の把握  
(設問三2(1)) 91.4% (84.4%)

## 通過率 60%未満の設問

- 小3の漢字の書き  
(設問三1②) 35.2% (30.0%)
- 叙述の仕方の確認  
(設問四3) 43.8% (34.6%)
- 伝えたい事実の明確な記述  
(設問四1) 55.5% (59.7%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 情報の取り出し  
(設問五1) 91.4% (87.2%)
- 情報の取り出し・整理  
(設問五3) 75.0% (78.8%)

## 通過率 60%未満の設問

- 情報の取り出し・伝えたい事実の明確な記述  
(設問五4) 41.4% (54.5%)
- 要旨の把握  
(設問五2) 44.5% (35.4%)

## 結果から考える

## ○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より3.0ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「読むこと」、「書くこと」に関する指導です。文章の展開に即して内容を読み取らせる指導や、書いた文章を読み返し、分かりやすい文章に推敲させる指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、根拠や事実に基づいて自分の考えを記述させる指導を充実させる必要があります。

## 平成 29 年度 「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

## 数 学

## 平均通過率

市 69.0%  
県 (66.9%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 71.9% (69.97%)

【数と式】 75.5% (72.9%)

【図形】 68.7% (68.1%)

【関数】 69.8% (65.1%)

【資料の活用】 60.9% (60.5%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 59.1% (57.4%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 四則の計算  
(設問 1(2)) 96.9% (90.7%)
- 小数の減法  
(設問 1(1)) 96.1% (94.9%)
- 累乗の計算  
(設問 1(4)) 90.7% (78.8%)

## 通過率 60%未満の設問

- 自然数の意味  
(設問 3) 38.0% (44.2%)
- 円錐と円柱の体積の関係  
(設問 6(1)) 48.8% (48.1%)
- 文字式の表し方  
(設問 2) 51.9% (58.5%)
- 最頻値の意味  
(設問 8(1)) 51.9% (53.4%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 情報の適切な選択と判断  
(設問 11(1)) 75.2% (72.3%)
- 作図の利用  
(設問 10) 61.2% (56.1%)

## 通過率 60%未満の設問

- 事象の数学的な解釈  
(設問 12(1)) 51.9% (54.7%)
- 事象の解釈と表現  
(設問 11(2)) 52.7% (55.4%)
- 問題解決の方法の説明  
(設問 12(2)) 54.3% (48.4%)

## ○考察

平均通過率が 60%を超え、県の平均通過率より 2.1 ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「資料の活用」に関する指導です。資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明させる指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、具体的な事象を式の意味に即して解釈し、その結果について考えさせたり、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明させたりする指導を充実させる必要があります。

## 平成 29 年度 「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

## 理科

## 平均通過率

市 58.4%  
県 (50.8%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 63.8% (54.5%)

【生物】 70.5% (65.7%)

【化学】 36.3% (36.5%)

【物理】 71.3% (66.4%)

【地学】 55.5% (34.7%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 50.4% (45.3%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 蒸散  
(設問3(1)) 96.1% (84.3%)
- 火山灰の観察方法  
(設問5(1)) 86.0% (47.7%)
- 光の屈折  
(設問1(1)) 75.2% (78.2%)

## 通過率 60%未満の設問(下位3問)

- メスシリンダーを用いた固体の体積のはかり方  
(設問7(2)) 23.3% (20.8%)
- 融点  
(設問8(1)) 29.5% (36.7%)
- 密度の定義と式  
(設問7(1)) 53.5% (47.3%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 水中の物体の見え方  
(設問1(2)) 72.1% (74.3%)
- 実験結果の予想  
(設問3(2)) 66.7% (62.9%)
- 仮説を検証するための条件制御  
(設問2(3)) 63.6% (62.1%)
- 仮説に基づいた実験結果の予想  
(設問7(3)) 63.6% (61.5%)

## 通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 状態変化のグラフ  
(設問8(2)) 11.6% (16.2%)
- 砂岩と判断する根拠  
(設問5(3)) 32.6% (17.5%)
- 地層の広がり方  
(設問6(2)) 41.9% (28.4%)

結果から考える

## ○考察

県の平均通過率を7.6ポイント上回っているものの、平均通過率が60%を下回っており、基礎的・基本的な学習の定着に課題があります。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、60%を下回っている「化学」、「地学」の領域に関する指導です。特に、目的意識を持った観察、実験を行い、自然事象についての知識・理解の定着を図る指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、理科で学習した知識・技能に関連した自然の事物・現象などについて、考えたり説明させたりする指導を充実させる必要があります。

## 平成 29 年度「基礎・基本」定着状況調査(中学校)

## 英 語

## 平均通過率

市 77.0%  
県 (72.4%)

※( )内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 79.1% (74.7%)

【聞くこと】 77.1% (73.0%)

【読むこと】 78.8% (76.8%)

【書くこと】 82.2% (73.8%)

【話すこと】 78.1% (75.6%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 65.6% (59.9%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- コミュニケーションへの積極性, コミュニケーションの継続  
(実技 関・意・態) 98.4% (97.2%)
- 基本的な文のきりまりを理解した作文  
(設問 6 2 ①) 96.1% (94.8%)
- 内容を考えた音読  
(実技 音読) 95.3% (91.2%)

## 通過率 60%未満の設問

- 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す  
(実技 問2) 49.2% (35.4%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 情報を基にした概要や要点の理解  
(設問 11 3) 78.9% (69.2%)
- 適切な質問を考え英文を書く  
(設問 11 2) 65.6% (60.7%)
- まとまりのある一貫した英語の文章を書く  
(設問 12) 64.1% (61.1%)

## 通過率 60%未満の設問

- 根拠となる英文の読み取り  
(設問 11 1) 53.9% (48.4%)

## 結果から考える

## ○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より4.6ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、外国語理解の能力の定着を図る指導です。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」に関する活動をバランスよく取り入れ、コミュニケーション能力の基礎を養う指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、情報を基に、関連した質問を考えて英文で書かせるなど、外国語表現の能力を高める指導を充実させる必要があります。